

<取材のお願い>

2022年10月25日

静岡大学

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

アジアと欧州4カ国の大学院生が気候変動下での山岳生態系の管理技術を学ぶ ～世界的に希少な静岡の自然環境を生かしたフィールドワーク研修～

静岡大学では11月1日(火)～11月10日(月)カセサート大学(タイ)から大学院生2名、マレーシアプトラ大学(マレーシア)から大学院生2名、リュブリャナ大学(スロベニア)から大学院生1名、教員1名、ガジャマダ大学(インドネシア)から大学院生1名、ボゴール農科大学(インドネシア)から大学院生1名、アンダラス大学(インドネシア)から大学院生1名、バンドン工科大学(インドネシア)から大学院生1名、計10名を招き、気候変動下での山岳生態系の管理技術を学ぶ研修プログラムを実施します。

地球規模での気候変動の影響により自然生態系の変質や気象災害等突発現象の激化が世界中で顕在化しています。山岳域では、森林の変化や生物多様性の喪失問題、山地災害の多発などが懸念されており、国際的に環境問題や防災問題を担う人材を育成することが急務です。山岳地は気候変動の影響を受けやすい生態系である一方で、山岳生態系の状態が気象条件の緩和や災害防止に貢献しています。本プログラムでは、各国の大学院生が山岳生態系の保全方法について、生態学・地理情報学・社会科学など多様な視点からデザインできる能力を身につけるために実践的な研修を行います。

静岡大学の周辺は暖温帯から高山帯まで多様なバイオーム(生物群系)が存在し、日本の代表的な植生を観察できることで知られています。また、堆積岩、火山岩、変成岩などの様々な地質が複雑な地形を形成しており、狭い範囲にこれほど多様な気象環境、生体、地質、地形が集約された地域は世界的にみても希少な地域です。招へい学生たちは、このような静岡の多様な生態的・地学的環境下でのフィールドワークを通して、気候変動下の山岳生態系の保全方法を学び、生態系サービスと多様性の関係性についての理解を深めることが期待されています。山岳地の環境保全と気象災害軽減に資する人材を育成し、将来的に国際研究ネットワークを構築することが本研修プログラムの目的です。

本プログラムは科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」*に採択されたもので、2015年度から6回目の実施になり、自主的な取り組みを含めると10回目の開催となります。過去の参加者が複数名、留学生として本学への再来日をはたしています。

<参考>

2015 年度活動レポート

https://ssp.jst.go.jp/report/2015/k_vol224.html

2016 年度活動レポート

https://ssp.jst.go.jp/report/2016/k_vol141.html

2018 年度活動レポート

https://ssp.jst.go.jp/report/2018/k_vol240.html

2019 年度活動レポート

https://ssp.jst.go.jp/report/2019/k_vol344.html



2015 年度



2016 年度



2018 年度



2019 年度

つきましては、招へい学生が真剣に講義や静岡県内各所でフィールドワークに取り組む様子などを取材して頂きたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の水永博己教授へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

【実施内容】

- 講義
- 静岡大学天竜ランチでのフィールドワーク
- 静岡大学南アルプスランチでフィールドワーク
- 富士吉田市、鳴沢市、富士宮市でフィールドワーク
- 静岡市でのボランティア活動（海岸林の保全）

【研修日程概要】

- 11月 1日（火） 午後 入国、浜松市へ移動
 ガイダンス：日本のフィールド調査における危険と安全への対策
- 11月 2日（水） 午前 講義：日本の多様な植生とその特徴
 講義：日本の森林管理の現状と課題
 午後 見学：国有林の皆伐更新とシカ対策
 見学：自伐林家の森林管理
- 11月 3日（木） 午前 講義：天然林の動態と保全
 講義：林冠構造と森林の生態系サービス
 講義：ヨーロッパの森林と林業

天竜
ランチ

- 午後 見学：照葉樹林の生態と森林構造の測定
 イブニングプレゼンテーション：研究発表交流会
 グループディスカッション：各国の森林生態系／山岳環境
- 11月4日（金） 午前 講義：動物の生息地としての森林群落の評価
 講義：温帯林の管理
 午後 実習：気候変動のインパクト実験
 実習：人工林の生態系修復技術と修復効果評価手法
 実習：小規模森林経営の持続可能性
 イブニングプレゼンテーション：研究発表交流会
 グループディスカッション：各国の森林生態系／山岳環境
- 天竜
 ブランチ
- 11月5日（土） 午前 見学：天竜川の流域管理と山岳域の水文環境（船明ダム）
 午後 見学：樹木の採種園の効率化
 見学：森林の文化サービスと日本庭園・木造建築
 グループディスカッション：各国の森林生態系／山岳環境
- 11月6日（日） 午前 実習：種多様性の高い温帯林とその成立過程
 午後 実習：生態系サービスと種の多様性に関する測定技術
- 南アルプス
 ブランチ
- 11月7日（月） 午前 見学：森林の炭素フラックスモニタリング （富士吉田市）
 午後 見学：溶岩上に発達した温帯針葉樹林とその動態 （鳴沢市）
- 11月8日（火） 午前 見学：樹木限界の生態（上昇する樹木限界） （富士宮市）
 午後 実習：亜高山帯と冷温帯のエコトーンの生態
 午後 実習：富士山の大規模土砂移動現象とその対応
- 11月9日（水） 午前 実習：海岸林の保全とボランティア活動 （静岡市）
 講義：山岳生態系保全のためのリモートセンシング
 午後 修了式
- 11月10日（木） 午前 帰国

* 「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



■ 本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
森林生態系部門（静岡大学演習林）担当：水永 博己

■ 国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
（担当：田中(禎)、太田）